

授業 科目名	【G】 【H】 【I】	教職実践演習 教職実践演習 教職実践演習	区 分	開講年次	【G】4 【H】4 【I】4	単位数	【G】2 【H】2 【I】2	
科目区分	教育実践に関する科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	オムニバス	【G】 教員の免許状取得のための必修科目 【H】 教員の免許状取得のための必修科目 【I】 教員の免許状取得のための必修科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教育実践に関する科目							
サブ タイトル	教員としての実践力量の向上のために			担当者	後藤 雅彦・田中 将之・加納 久子 見崎 浩一・小関 勇次			
授業概要	【概要】	<p>【実務(中学・高等学校教諭)経験を活かした授業:田中(将)・小関・後藤, 加納】 中学校及び高等学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。 【対人援助の技法に関する授業:見崎】 演習によってコーチング等の方法に関する理解を深める。</p> <p>【概要】 本演習は、教職に関連する学びを振り返りながら、新人教員として最低限求められる資質・能力等を確認することを目的とする。具体的には、①参与観察による生徒理解や学級経営の基礎的な方法、②ロールプレイによる生徒・保護者などへの対応方法、③教科教育法担当教員及び高等学校教員の指導を仰ぎながら、教材作成や模擬授業を通じた教科の指導力を確認する。以上の実践的な取り組みと現職教員による指導や対話を通じて、教員になるための意志を強め、教員としての使命感や責任感を高めることを目指す。</p>						
	【到達目標】	<p>○教員との対話や高等学校への参与観察を通じて、生徒理解や学級経営への理解を深める。 ○ロールプレイを通じて、生徒・保護者への対応、社会人としてのマナーを身につける。 ○精練授業の内容を省察して、模擬授業を実践することができる。</p>						
履修条件	本年度に教育実習を実施し、かつ卒業見込みの者。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【○】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【○】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との 関連性	事前・事後指導(3・4年)、教育実習Ⅰ・Ⅱ(4年)、							
教科書	特に定めない							
参考書	適宜、資料を配布する。							
評価方法	教育現場に於ける実習、フィールドワーク、ロールプレイ、後輩に向けての教育実習報告会、教育委員会指導主事の講話等への参加状況及び発表の状況、対面講義やオンライン授業での参加や課題提出状況を総合的に判断して、評価を行う。 ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。							
フィードバック 方法	課題やレポートへのコメント、発表へのコメント							
評価基準	授業内容についてよく理解してレポートをまとめ模擬授業を実践できた者には「S」または「A」を与える。内容理解やレポート、模擬授業に不十分な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、取り組む姿勢が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。また、6回以上欠席するなど判定不能な者は「F」とする。							

授業 科目名	【G】	教職実践演習	区 分	開講年次	【G】4	単位数	【G】2
	【H】	教職実践演習			【H】4		【H】2
授業回数	【I】	教職実践演習			【I】4		【I】2
	授業内容						
1	オリエンテーション(教職実践演習のねらい、教育実習の振り返り)【担当:田中(将)】						
	予習: 教職に関する学びの振り返り		復習: テキストの読解				
2	学校現場における実習①(私立学校の現状、木更津総合高校の概要、授業見学)【担当:田中(将)】						
	予習: 配布資料の読解		復習: 課題の作成				
3	学校現場における実習②(生徒理解と学級経営について)【担当:田中(将)】						
	予習: 教育実習の振り返り		復習: 課題の作成				
4	学校現場における実習③(私立学校が求める教員像の探究, 高校教諭の実践から)【担当:田中(将)】						
	予習: 教育実習の振り返り		復習: 課題の作成				
5	初任教員として必要な資質・能力とは【担当:後藤】						
	予習: 高等学校における実習の振り返り		復習: 課題の作成				
6	生徒理解【担当:田中(将)】						
	予習: 配布資料の読解		復習: 課題の作成				
7	ロールプレイ(コーチング)【担当:見崎】						
	予習: 配布資料の読解		復習: 課題の作成				
8	教師が行うフィールドワークⅠ【担当:小関】						
	予習: 配布資料の読解		復習: 課題の作成				
9	教師が行うフィールドワークⅡ【担当:小関】						
	予習: 配布資料の読解		復習: 課題の作成				
10	千葉県教育委員会による講演(小学校・特別支援教育のもつ意味)【担当:田中(将)】						
	予習: 配布資料の読解		復習: 講演内容の振り返り				
11	教師の一日・一年・授業について【担当:後藤】						
	予習: 配布資料の読解		復習: 講演内容の振り返り				
12	教育現場の課題 - 学級経営の基本-【担当:後藤】						
	予習: 配布資料の読解		復習: 課題の作成				
13	ロールプレイ(リーダーシップ)【担当:見崎】						
	予習: 配布資料の読解		復習: 課題の作成				
14	後輩に向けての教育実習報告会【担当:田中(将)】						
	予習: 実習報告の資料作成		復習: 教育実習改善策の検討				
15	総括(教職カルテ・模擬授業の振り返りを含む)【担当:田中(将), 後藤】						
	予習: 教職に関する学びの総復習		復習: 理解が不十分な点についての確認				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目の評価によっては、教員免許状取得申請が取り下げになる場合があるので注意すること。上記の順番は目安であり実習先・担当者の都合により変更することがある。その場合は事前に連絡がある。 ・本科目は教育実習への参加を前提とするため、教育実習を中止した場合には本科目の評価対象外となる。 ・授業ごとの予習・復習時間は、各90分程度を目安とする。 						